

東町かわら版 第24号

三ツ山一明委員長あいさつ

街並み整備が始まる以前、東町には多くの空き店舗がありましたが、整備が始まるとセットバックの建て替えを機に営業を再開する店舗が増えてきました。特に飲食関係の店が多くなり、それらの店が提供する、SNSで「ばえる」食べ物を求めて、若者たちの食べ歩きする姿が目立ちます。休日には行列のできる店もあり、街並みに活気が出てきました。新型コロナが第5類感染症に移行してからインバウンドが一気に増えて街歩きをする外国人観光客が多くなり、歩道は国際色豊かです。

今年度、第3次ワーキンググループを立ちあげました。第3次ワーキンググループでは、今まで完成した工区の修景を含め、東町全体について継続的に議論できる組織とします。現在、下鉢石町工区のセットバックはほぼ完了し、令和6年度完成を目指し道路の整備が進んでいます。これから整備が始まる、上・中鉢石町工区が「祭（いのり）のまち」のテーマにふさわしい街並みになるよう活動してまいります。

「まちなみづくりのための手引」を発行しました

「日光東町まちづくり規範」の概説版として、「まちなみづくりのための手引」を発行しました。日光東町のまちづくりの考え方について再確認する場合や、新しく日光東町に関わる人に認識してもらう場合のツールとしてご活用ください。

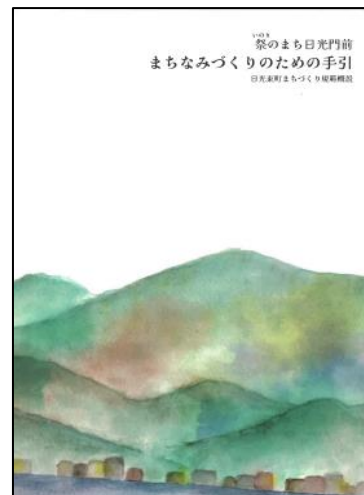
配布場所：日光市役所都市計画課、日光行政センター、NPO法人日光門前まちづくり、など。

※令和5年11月20日（月）に粉川昭一日光市長へ手引き作成の報告を行いました。

報告会の様子



まちなみづくりのための手引



第3次ワーキンググループ始動

日光東町まちづくり規範の深化版を作成した第2次ワーキンググループをさらに発展させ、新たに第3次ワーキンググループを発足しました。10月に第1回目を開催し、1月まで毎月1回のペースで開催しました。今後の活動についてワークショップを織り交ぜながら話し合いを実施しました。

今まで実施してきた取組や現状の課題を抽出し、今後実施していきたい取組について整理することができました。

来年度以降は、色々な取組を実施していく予定です。一例として、ワークショップの実施、宇都宮大学との連携事業（日光東町の有効な活用方法の検証）、日光東町の展示会、情報交換会など。

日光東町をより良い町にしていくため、引き続き積極的に活動していきます。



ワーキンググループの様子

木造ベンチを設置しました

日光木材業協同組合から日光東町に4台の木造ベンチを寄贈していただきました。設置場所は、相生町公民館前（相生町）、レストランまこ（稲荷町三丁目）、つづれ屋（御幸町）、天海大僧正像前（上鉢石町）になります。

地元の方や、観光客の休憩場所等としてご利用ください。

木造ベンチ贈呈式の様子



天海大僧正像前



発行者：日光東町まちづくり推進委員会 委員長 三ツ山 一明

事務局：日光市役所 建設部都市計画課都市計画係 TEL 21-5102